

4 多様な学習指導の 構 想

家庭や地域社会との 連携を図った指導

指導のポイント

- 道德の時間において、家庭や地域社会との連携を図った指導は、道德教育の意義やねらい、児童の実態について、保護者や地域住民と共通理解を図り、相互の連携・協力を図ることにつながります。

具体的事例

- できることから始めましょう。

難しそう。

どうしたらよいか
わからない。



道德通信(学級通信)

まずは、学校から情報提供して、道德の時間について、理解してもらいましょう。

[内容]

- ・ 道德の時間で扱った資料名やねらい
- ・ 児童生徒の書いたワークシートの内容を紹介
- ・ 保護者の感想などを書いてもらう欄 等

保護者に担
任の想いを
知らせ、理解
してもらい
ましょう。

○年○組学級通信(by ○○)

道德通信

○月○日 No.○

資料名 「私って何」 彩の国のどうとく

資料について

主人公の「わたし(幸恵)」のクラスでは人気者の「この世から去れ!」というギャグがはやってる。ある日、教室に「秘密」と書かれた封筒が落ちてくるのを見つけ、読んでみると「幸恵って生霊。この世から去れ!」って感じ。」と書かれていてショックを受ける。「私って何なんだろう。本当にこの世からいなくなったらいいのだろうか。」と悩み、「私がいてよかった?」を母に聞く幸恵に、母は、「幸恵は家族の宝物よ。」と答える。それを聞き、幸恵の心はほぐれていく内容です。子供たちに自他の生命のかけがえのなさを感じてもらいたいと思い、この道德の時間を設定しました。

担任の想い

「かけがえのない命」について言葉で理解はしていても、日々の生活の中で立ち止まって考える機会って、あまりありませんよね。つい生命を軽視するような軽はずみな発言をしてしまい、人を傷つけてしまったりすることありませんか? 「自分の命を大切に」「他の命を大切に」生きて欲しいと、心から願っています。そのためにも、協力したり、団結する活動を大事にしたり、思いやりの心をもって生活しましょう。この資料では、命のつながりについて考えました。かけがえのないあなたたちが、命の尊さについて考えてくれてとても嬉しいです。

<授業で考えたことを書いてみよう>

○家庭科の宿題でお母さんにインタビューをしたときに、「あなたは産産しそになって、お母さんは妊娠中は不安で不安で夜も眠れなかった」と答えていたことを思い出しました。私にとって大切な命は、お母さんにとっても大切な命なんだと、今日の授業を受けて思いました。

授業の様子や児童の感想などを掲載して、児童のよさや道德の授業の大切さをらせていきましょう。道德教育について理解・協力してもらうよい機会になります。

○今日の勉強をして、お母さんが産んでくれなかったら私はここにいないんだと思った。そうしたら自然と「ありがと」という気持ちになった。精からもらった命を大切に、他の人も大切にしなければと思った。

○「命は自分だけのものではない」ということがわかった。靴からもらった命を大切にしていきたい。今までついノリで人に対して「死」とか言ってしまったけれど、自分の命が大切なように、その子の命も大切なんだってことに気づいたら、今までの自分がはやくくなった。

<○○へ>今日の授業を受けて手紙を書いてみよう。

お母さんへ
いつも自分の時間がなくて大変でしょ? 「母の日」以外もちゃんと休んでね。体をこわさないでね。お母さんの子どもに生まれてきて本当に良かった。ス〜っと長生きしてね。私の子どもの面倒も見てね(笑)

父へ
私が生まれてくるときに、だばこをやめてくれてありがと。僕の命を大切にしてくれたように、父さんの命も大切にね。もうたばこは吸わないでね。

<保護者の方々へ>

「わたしって何」いかがでしょうか? 今回の道德も生徒たちは積極的に自分の考えを発表してくれました。手紙を書く場面では涙ぐみそうにしていましたが、内容は本当に素晴らしく、私自身も自分の子どもを産んだときのことを思い出しました。

今回も申し訳ありませんが、感想やお子さんに対する手紙などを書いて提出して下さいありがとうございます。学級通信で紹介するときは名前は載せません。(載せるのはちょっと〜という場合は、その旨をコメントの最後に書いて下さい)

道德「わたしって何」 お名前()

<こんな返信がありました>

○○が大人になって子どもができれば、○○の子どもにも私やお父さんがしてあげた良いことをしてあげて欲しいと思います。兄弟がたくさんいることは嫌だと思うかもしれませんが、大人になったら良かったと思えることもいっぱいあるはずだよ。いらぬ命なんてないし、お母さんは子どもが1人、また1人と増えるたびに、本当に嬉しかった。一度しかない人生、一生懸命生きて欲しいと思います。

道徳の授業の公開

保護者や地域の方に道徳の授業を公開し、道徳教育に関心を持ってもらいましょう。理解や協力をしていただけるきっかけにもなります。家庭用「彩の国の道徳」を保護者の方に持参してもらい、一緒に考えてもらうのもよいでしょう。



地域の方や保護者の参加を得た授業

地域の方や保護者の道徳教育への理解が深まります。また児童にとっては、大人から直接学ぶことにより、道徳的価値の理解や人間理解の深まりが期待できます。

ア ゲストティーチャーとして協力してもらう

- 「ねらいとする道徳的価値は何か。」「どの段階で協力してもらうのが効果的か。」を考えましょう。

導入段階…実演などをしてもらい、児童の興味・関心を喚起する。
終末段階…ねらいとする道徳的価値にかかわる体験などについて話をしてもらい、児童が主体的に考えられるようにする。

保護者等との事前の打合せを入念に行いましょう。

イ 保護者参加型の授業

児童と同じように話し合い活動に参加してもらい、保護者も一緒に道徳的価値について考えてもらう授業です。



小グループの保護者と児童の話し合い

どのように参加してもらうか事前に考えておきましょう。

- ・児童と保護者等と全員で話し合う。
- ・児童のグループの中に入れてもらう。
- ・保護者だけのグループにする。

保護者等には、何について話し合うのかなど事前に連絡しておきましょう。

<授業に参加した保護者から>

とてもよい授業を受けさせていただき、ありがとうございます。他人への感謝など、私自身も自分を振り返り、いろいろと反省をしました。娘も同じだったようで、夕食を食べながら家族で話しました。他人に優しくなれる、他人に感謝できるなど、生きていく上で大切だと改めて思いました。大切なことを今の子供たちにわかってもらえる授業でした。



Point

- ふだん人前で話をする機会がない人が、児童の前で話することは、緊張を伴ったり、プレッシャーを感じたりするものです。保護者等に大きな負担をかけないために、**事前に入念な打合せ**しておくことが大切です。前もって児童に向けた手紙を書いてもらい、担当が目を通しておくのもよいでしょう。
- 公開授業や保護者参加型授業では、できるだけたくさんの保護者等に参加してもらうためには、**ふだんから担当が道德教育に対する想いや熱意を保護者に伝えておく**ことが大切です。道德通信（学級通信）などは効果的です。

留意点

- 児童のワークシートや保護者のコメントは、人に知られたくないことを書いてある場合もあるので、取り扱いに注意しましょう。前もって道德通信に掲載してもよいか確認しましょう。
- 家庭や地域社会との連携を教師一人で進めるのは大変です。道德教育推進教師等に相談し、学校全体で組織的に進めていくとよいでしょう。